

報道関係者各位

## トレンド調査 —「プロの住まい選び」に関する調査—

# 不動産のプロ 自身の住まいの満足度 7割

～不動産業界に入ってから決めた住まいの満足度は、高い傾向～

「at home web」(<http://www.athome.co.jp/>)を運営する、不動産総合情報サービスのアットホーム株式会社(本社:東京都大田区、代表取締役:松村 文衛、以下 アットホーム)では、2009年5月16日～5月25日の10日間に、アットホームに加盟している不動産会社(加盟店)に対し、インターネットを使った調査を実施し、計1,116名の有効回答を集計しました。

今回の調査では、不動産業の人達が自身の住まいを決めたきっかけ、住まいを探す際どのような方法で物件情報を収集したか、住まいを選ぶ際に重視した点、住まいの満足度などについて調査し、プロの住まい選びの実態について明らかにすることができました。

### ■不動産のプロ 自身の住まいの満足度 7割

全回答者1,116名に、現在の住まいを決めたのは不動産会社(業界)に入ってからかどうかを単一回答形式で尋ねたところ、60.4%が「不動産会社(業界)に入ってから」と回答しました。

次に、現在の住まいの満足度を聞いたところ(単一回答形式)、『満足している』(「十分満足している」19.5%と「満足している」49.0%の合計)は68.5%となりました。この満足度を、不動産会社(業界)に入ってから住まいを決めた人(674名)と入る前に決めた人(442名)で比較してみると、入ってからの人の『満足している』は75.1%、入る前の人の『満足している』は58.6%となり、入ってから住まいを決めた人の方が16.5ポイント高いことが分かりました。不動産会社に入ってから住まいを決めた人は、不動産会社で得られた知識や経験を元にして住まいを選んでいることがうかがえる結果となりました。

### ■プロの住まいを決めたきっかけ トップは「良い物件との出会い」

現在住んでいる住居形態(入居時)を単一回答形式で尋ねたところ、1位は「新築注文建築一戸建て」26.1%、続いて「中古賃貸マンション」15.0%、「中古売一戸建て」11.2%、「新築建売一戸建て」10.8%、「新築分譲マンション」10.1%となり、注文住宅の割合の高さが注目されます。

次に、現在の住まいを決めたきっかけを聞いたところ(単一回答形式)、トップは「良い物件との出会い」22.6%、2位「子どもが生まれた(成長した)」15.1%、3位「結婚」14.1%となりました。このように住まいを決めたきっかけが、自身の環境の変化(「就職・転職」「結婚」など)ではなく、「良い物件との出会い」がトップになるというところに、日々不動産物件を扱っているプロの特色が出ているといえるかもしれません。



## ■プロの住まい探し情報収集 「自社で保有している物件の中から」「不動産会社間流通情報」

現在の住まいを探した際、どのような方法で物件情報を収集・活用したかを単一回答形式で尋ねたところ、1位は「自社で保有、または管理している物件の中から」21.0%となり、これに「不動産会社間流通情報(レインズ・アットホーム等)」20.9%が僅差で続き、以下「新聞チラシ」12.0%、「知人・同業者から」8.2%となりました。情報収集の方法として「自社保有の物件」「不動産会社間流通情報」「知人・同業者から」と自身の職業である不動産業の利点を活用している様子が見えられます。

## ■プロの住まい選びの重視点 「地域・場所」「価格・家賃の妥当性(相場・資産価値等)」

現在の住まいを選ぶ際に、重視した点を複数回答形式で聞いたところ、トップは「地域・場所」56.9%、2位「価格・家賃の妥当性(相場・資産価値等)」55.8%、3位「広さ」41.2%という結果となりました。「価格・家賃の妥当性(相場・資産価値等)」を判断することは、不動産についての専門的な知識・経験を持たない一般の人にとっては少し難しいかもしれませんが、やはりプロの目から見て重要な項目であるようです。

## ■一般と違うプロの視点 「周辺環境(住環境)」「価値・相場」「施工・管理」

住まいを選ぶとしたら、「プロの視点」と呼べるような、一般のユーザーと違う点は何かを自由回答形式で尋ねたところ、トップは「周辺環境(住環境)」9.1%となり、これに「価格・相場」8.6%、「施工・管理」8.3%、「資産価値」7.2%が続きました。「周辺環境(住環境)」の具体的な内容としては“現地環境の捉え方”“近隣物件に住む人の層や周辺地域の治安”など、「価格・相場」は“価格相場に詳しい”“価格の妥当性・情報量”などの意見がありました。「施工・管理」は“管理会社や施工業者のチェック”“建物管理の状況”、「資産価値」は“将来も需要のある売りやすい物件かどうか”“将来の発展性”などでした。

一般ユーザーが、住まいを選ぶときは「現状の価格・相場」や「住宅設備」などに目が行きがちだと思われそうですが、不動産のプロは、「周辺環境(住環境)」「施工・管理」「資産価値」など、目先のことだけではなく、実生活や将来性を想定した視点を持っているといえ、この視点を一般ユーザーからの相談やアドバイスに活かしている姿が見えます。

## ■調査概要(クローズド調査)

- ◆調査テーマ…「プロの住まい選び」に関する調査
- ◆回答サンプル数…1,116 サンプル
- ◆対象者…アットホームに加盟している不動産会社の経営者・従業員

※メールマガジン(約 32,000 店に定期配信)の 1 コンテンツとしてアンケート調査を実施



アットホーム株式会社

URL: <http://athome-inc.jp/>

## 会社概要

- 会社名 : アットホーム株式会社
- 創業 : 昭和 42 年 12 月
- 資本金 : 1 億円
- 年商 : 219 億 3,400 万円(平成 19 年 6 月～平成 20 年 5 月)
- 従業員数 : 1,196 名[男子 821 名、女子 375 名(平成 21 年 6 月末現在)]
- 代表者名 : 代表取締役 松村 文衛
- 所在地 : 東京都大田区西六郷 4-34-12
- 事業内容 :
  - 不動産会社間情報サービス
    - ・ファクトシート(図面配布システム)
    - ・不動産業務総合支援サイト ATBB(オンラインサービス)
  - 消費者向け不動産情報サービス
    - ・アットホームウェブ(PC 版・ケータイ版)
  - 不動産関連情報サービス
    - ・不動産データライブラリー
  - 資格・知識習得支援サービス
    - ・通信講座アットホームスタディ(宅建、コンサルなど)
    - ・宅建登録講習
  - ホームページコンテンツ支援サービス
    - ・検索エンジンレンタルサービス
    - ・アットホームモバイルパック
- 会社案内 : <http://athome-inc.jp/>

### ■■報道関係者様へのお願い■■

本リリース内容の転載にあたりましては、アットホーム調べという表記をお使い頂きますよう、お願い申し上げます。

#### 【本件に関する報道関係者のお問い合わせ先】

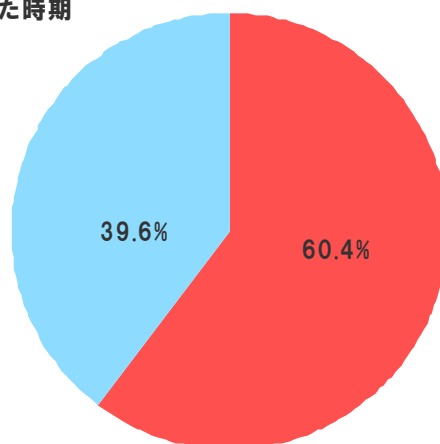
アットホーム株式会社 広報担当: 岩田 E-mail: [koho@athome.co.jp](mailto:koho@athome.co.jp)

〒144-0056 東京都大田区西六郷 4-34-12 TEL: 03-3730-6484



<参考データ>

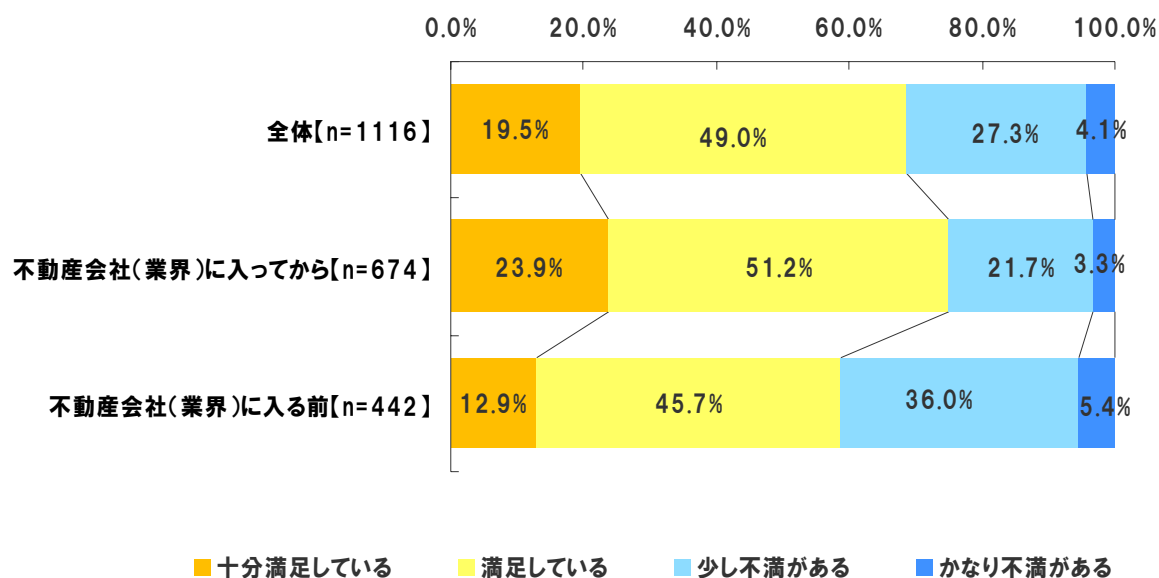
◆現在の住まいを決めた時期  
【全体:n=1116】  
※単一回答形式



■ 不動産会社(業界)に入ってから

■ 不動産会社(業界)に入る前

◆現在の住まいの総合的な満足度  
※単一回答形式



■ 十分満足している

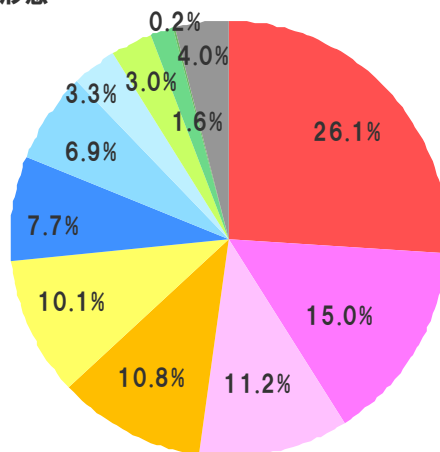
■ 満足している

■ 少し不満がある

■ かなり不満がある

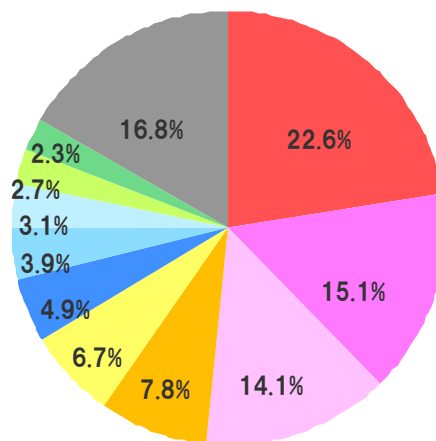


◆現在の住まいの住居形態  
【全体:n=1116】  
※単一回答形式



- 新築注文建築一戸建て
- 中古賃貸マンション
- 中古売り一戸建て
- 新築建売一戸建て
- 新築分譲マンション
- 中古売りマンション
- 中古賃貸アパート
- 新築賃貸マンション
- 中古賃貸一戸建て
- 新築賃貸アパート
- 新築賃貸一戸建て
- その他

◆住まいを決めたきっかけ  
【全体:n=1116】  
※単一回答形式



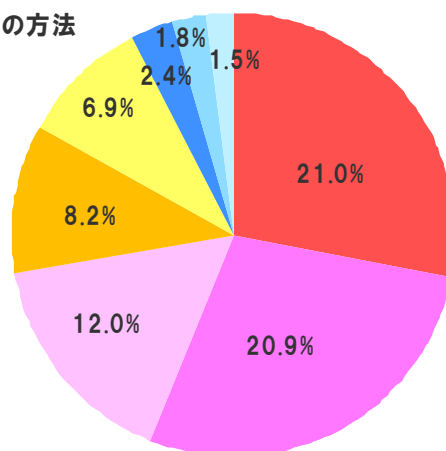
- 良い物件との出会い
- 子どもが生まれた(成長した)
- 結婚
- 通勤時間の短縮
- 就職・転職
- 独立
- 引越し資金または購入資金ができたため
- 以前住んでいた物件の売り時がきたため
- 契約更新
- 転勤
- その他



アットホーム株式会社

URL: <http://athome-inc.jp/>

◆住まいを探す際の物件情報収集の方法  
【全体:n=1116】  
※単一回答形式



- 自社で保有、または管理している物件の中から
- 不動産会社間流通情報(レインズ・アットホーム等)
- 新聞チラシ
- 知人・同業者から
- 一般の住宅専門のインターネットサイト(モバイル含む)
- フリーペーパー
- モデルルーム・住宅展示場
- 住宅・土地が実家・親族の所有物

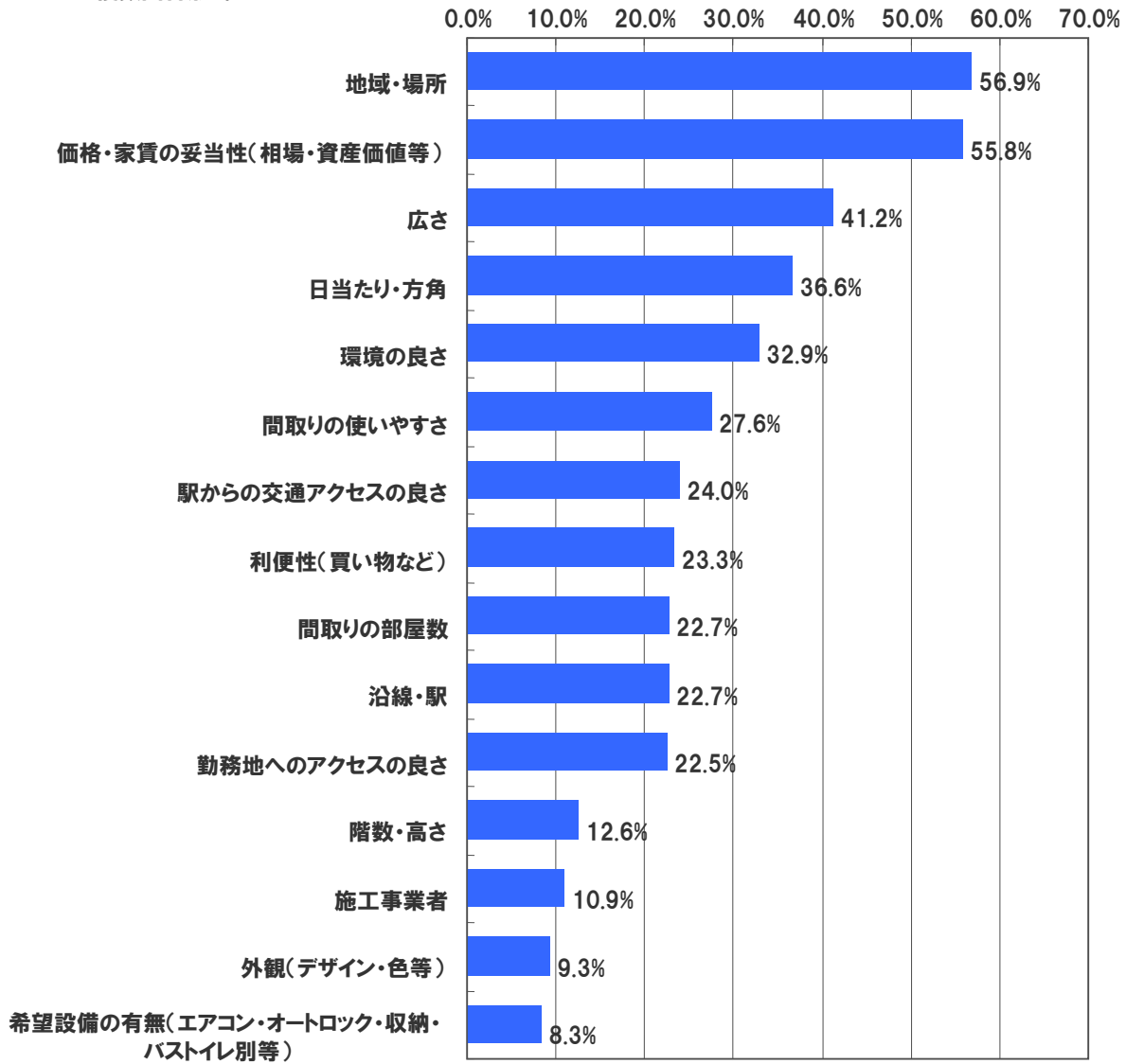


◆住まいを選ぶ際に重視した点

【全体:n=1116】

上位15項目

※複数回答形式





◆住まいを選ぶ場合、一般と異なるプロの視点

【全体:n=1116】

上位10項目

※自由回答形式

